

実技検査科目 [A1 論述]

問題.

別紙の要点を 200 字程度にまとめた上で、アートとデザインにおける「アクティビティと空間」について、あなたの考えを述べなさい。（全体で 800 字以内）

[別紙出典]

小嶋一浩編著『アクティビティを設計せよ！—学校空間を軸にしたスタディ』彰国社 2000 年
6-9 ページ

時間. 10:00~12:00

別紙

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(注1)「活動等高線」は、大学院時代の恩師である藤井明氏の専門で、研究室ではAC (Activity Canter)論と言っていた。その内容にはほとんど触れることなく大学院を出てしまったが、詳しくは藤井氏の論文を参照されたい。

実技検査科目 [A2 鉛筆デッサン]

問 題.

与えられたモチーフ（雑巾・白色・約20×30 cm）を持った手を、与えられた用紙（M画用紙ボード・B4判）に鉛筆で描きなさい。

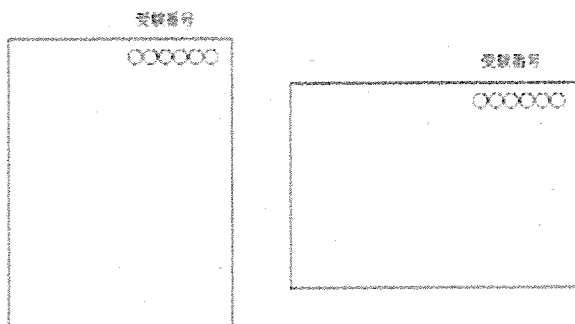
[条件]

- ・ 用紙の縦位置（長辺が縦）、横位置（長辺が横）は自由に選択して良い。

時 間. 10:00~12:00

A2 鉛筆デッサン 注意事項

- ・ スマートフォン・携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、カバンの中へしまいなさい。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 持参した受験票と机上の「QRコード付きの受験番号シール」に記載されている受験番号が同じであることを確認しなさい。
- ・ QRコードシールの貼付は、監督員の指示に従うこと。コピー用紙（B4、白色）2枚は下書き用紙である。配付物には指示があるまで手を触れないこと。
- ・ 募集要項に指定された携行品以外は使用を認めない。使用できる携行品は『鉛筆、消しゴム、練り消しゴム、カッターナイフ（鉛筆削りも可）』である。任意で使用できる携行品は『デスケール、はかり棒、サンドペーパー、擦筆、ティッシュペーパー、ガーゼ』である。
- ・ 携行品以外の物品は使用できない。また、物品の貸し出しも行わない。
- ・ 午後の実技で使用する携行品であっても、午前の実技検査で指定されていない携行品は、カバンにしまいなさい。
- ・ 配付された用紙以外の紙は使用できない。下書きには配付されたコピー用紙のみを使用すること。また、配付したコピー用紙は、折ってごみ入れに使用してもよい。
- ・ トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示に従いなさい。また、試験開始直前及び開始直後はトイレに行かないこと。
- ・ 試験開始後に水分補給が必要な場合は、手を挙げて指示に従いなさい。
- ・ 立ち上がってデッサンを確認することは認めない。また、大きな音を出すなど、周りの受験生に迷惑をかけること。
- ・ 試験開始後から終了までの間に、解答面の右上に受験番号を必ず記入しなさい。



- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、下書き用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

実技検査科目 [P 1 論述（鑑賞）]

問 題. 1

芸術鑑賞によって得られるものについて、具体例を挙げて論じなさい。（800字程度）

時 間. 13:30～15:00

実技検査科目 [P1 論述（鑑賞）]

問題. 2

[別紙] に示す作品について、表現の特徴を記述しなさい。（1000字程度）

[別紙出典]

ジュゼッペ・アルチンボルド 「夏」 1572年 油彩、カンヴァス 91.4×70.5cm
デンヴァー美術館
（展覧会図録『アルチンボルド展』国立西洋美術館 2017年 85ページ）

時間. 15:30～17:30

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

実技検査科目 [P2 論述（デザイン構想）]

問 題.

次の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 野生の動植物との共生という観点から、あなたの住んでいる街の公園の問題点について論じなさい。さらに、その問題を解決するために、高校生の立場でできることについて論じなさい。(1,000字程度)
- (2) あなたの住んでいる街の公園を野生の動植物との共生を促す場とするためのデザイン構想について提案しなさい。(A3判 PM PAD 1枚)
- (3) (2)のアイデアを文章で表現しなさい。(600字程度)

時 間. 13:30～17:30

実技検査科目 [P3 デッサン（木炭又は鉛筆）]

問 題.

与えられたモチーフ（紙袋、ベルト、ビン、バナナ、割木、模造紙）を与えられた位置から、与えられた用紙（650×500mm）に木炭又は鉛筆で素描しなさい。

[条件]

1. 木炭紙又は白象紙のうち、いずれか1枚を選択すること。
2. 用紙の縦（長辺が縦）、横（長辺が横）は自由に選択して良い。
3. 木炭と鉛筆を併用しても良い。

時 間. 13:30～17:30

実技検査科目 [P4 平面構成]

問題.

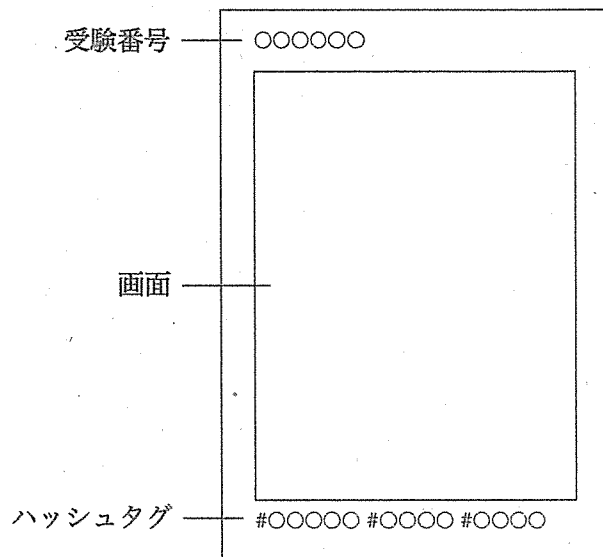
別紙の図から線や面を抜き出して、与えられた解答用紙（B3判）に平面構成を行いなさい。
また、この平面構成を SNS に投稿するとして、ハッシュタグを書きなさい。

[条件]

1. 画面は縦 400mm、横 300mm とし、用紙の中央に配置する。
2. 抜き出した線や面は以下の条件で扱う。
 - ・全ての線や面を使用しなくても良い。
 - ・繰り返し使用しても良い。
 - ・自由に拡大縮小しても良い。ただし縦横比は変えないこと。
3. 色の使い方は自由とする。
4. 画面外の左下に「#芸専 #平面構成」以外のハッシュタグを 3 つ書くこと。

[注意]

受験番号は解答用紙の以下の図に示す位置に鉛筆で書きなさい。



[別紙出典]

Purcell, Kerry William, et al. The Phaidon Archive of Graphic Design. Phaidon Press, 2012.
ID: E026

時間. 13:30~17:30

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

実技検査科目 「P5 書」

問題 一 別紙一の漢字古典作品を半紙に臨書しなさい。
ただし、連続する六文字を選ぶこと。

〔別紙一出典〕『書道全集』第八卷（平凡社 一九五七年）三二頁

問題 二 別紙二の仮名古典作品を短冊に原寸で臨書しなさい。

〔別紙二出典〕『日本名跡叢刊』三八（二玄社 一九八〇年）一一頁

問題 三 次の俳句を色紙に書きなさい。
ただし、連続・構成および漢字と仮名の変換は自由とし、仮名は変体仮名を交えてよい。落款は赤サインペンで「印」の形・大きさ・位置を示すこと。

しぐるゝや鴨かもの羽色はいろの筑波山

問題 四 次の詩句を画仙紙（半切二分の一）に書きなさい。
ただし、書体・書風・構成および紙の縦横は自由とする。落款は「白嶺書」とし、印については問題二に同じ。

誰家不借花園看

時間 十三時三十分～十七時三十分

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(この部分は、著作権の都合により公開できません)